

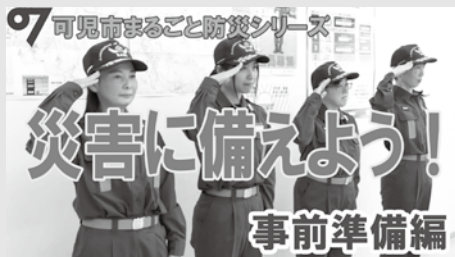
## 災害への備えはできていますか？

平成28年熊本地震や平成30年北海道胆振東部地震など、この5年間に甚大な被害をもたらす地震が続発しています。近いうちに必ず起こると言われている「南海トラフ地震」では、可児市内の最大震度は6弱、避難者数は3,000人超と想定されています。また、近年は猛烈な勢力の台風や線状降水帯、豪雨などにより大規模な風水害、土砂災害が多くなっています。

こうした災害に備えて、市は防災動画を作成し、市HPなどで公開しています。ぜひご覧いただき、日頃から防災意識を持つことや防災用品を整えるなど、災害への準備をしましょう。

### 可児市まるごと防災シリーズ

※順次、配信予定。



- 10月 ・災害に備えよう！事前準備編
- 11月 ・大雨、暴風の対策！風水害編  
・いつ起きてもおかしくない！地震編  
・いのちを守るための減災教室
- 12月～ ・防災スキルアップ講座

配信動画は  
こちらから



## 国際陶磁器フェスティバル美濃'21 INTERNATIONAL CERAMICS FESTIVAL MINO'21, JAPAN

問 国際陶磁器フェスティバル  
美濃実行委員会事務局  
☎0572⑤4111

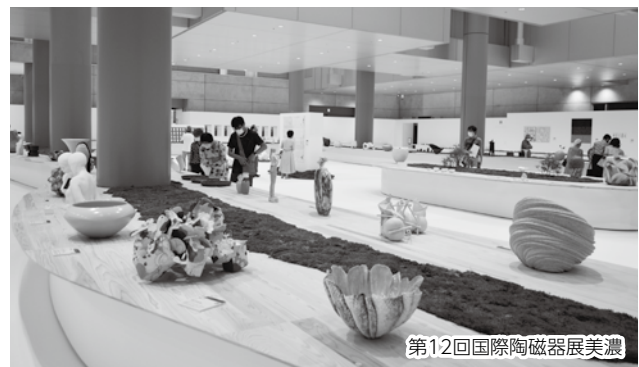


10月17日閉幕 ご来場・ご支援ありがとうございました

### WEB展覧会を開催

国際陶磁器フェスティバル美濃'21は、新型コロナウイルス感染症の影響により、期間と規模を縮小して行いました。メイン会場のセラミックパークMINOでは、美濃焼の歴史と未来、そしてグローバルなやきものの世界を堪能できる2つの展示会を開催しました。「第12回国際陶磁器展美濃」では、過去最多の64の国と地域から2,435作品の応募があり、入賞・入選の178作品を展示しました。また、「セラミックバレーと世界の陶磁器展～美濃焼とハンガリーの名窯ヘレンド～」では、やきものの産業と文化が息づく東美濃地域「セラミックバレー」の紹介と共に、ハンガリーの名窯ヘレンドの日本初公開を含む多数の作品を展示しました。

メイン会場で実施した2つの展示は12月26日(日)まで、公式HP(右上のQRコードからアクセス)でWEB展覧会を開催中です。この機会にぜひご覧ください。



第12回国際陶磁器展美濃



セラミックバレーと世界の陶磁器展